

# Aichi あいちの学童保育

県連協ニュース 2024-No. 4

2024年12月9日発行  
愛知学童保育連絡協議会

TEL : 052-872-1972 FAX : 052-308-3324  
Email : aichigakudou@gakudou.biz



## 第59回全国学童保育研究集会在 岡山県で開催されました



全体会 歓迎行事

11月16日17日の2日間で、今年の全国研が岡山にて行われました。参加者は最終的に4800名を超えたということでした。現地とZoomのハイブリッド形式で行われ、1日目は歓迎行事や被災地域からの特別報告、記念講演などがありました。歓迎行事は、ダンスとけん玉を組み合わせた大人数のステージでした。子どもたちが隊列を変えながらダンスをしていくので、そうとう練習してくれたのだな、と思いました。記念講演の川地亜矢子先生（神戸大学）は、学童期の子どもの、遊びを通じた発達について、事例をもとに解説してくださいました。堅苦しさゼロの、わかりやすく楽しいお話でした。2日目は場所を大学に移動して、分科会を行いました。現地で27教室、オンラインで16室に分かれて行いました。私は「公的責任を考える」に現地で参加しました。指導員、運営者、行政担当者、市議会議員、保護者（私だけ）と、さまざまな立場の参加者が32名ほどいました。委託や指定管理の問題点7つを助言者の木村雅英さんから具体的に示してもらえ、指定管理という制度がいかに学童保育にそぐわないものであるかということ学びました。さらに、次回のプロポーザルを乗り越えられるか不安である、逆に3回乗り越えてきた強者

の話、いまだにダブルワーク前提の地域など問題点を話し合ったり、これからの学童保育がどうあるべきか、昨今の親たちとどう思いを共有するか、などを、皆さんの自己紹介の内容などを使って、話し合うことができました。また、短い休憩時間においても、参加者同士の交流も盛んで、まさに現地の全国研だな、と思いました。来年は10月25日、26日に福岡県で現地をメインで行われます。ご参加いただくと、仲間と話せて元気が出ると思います。ご予約ください。

（県連協役員 藤田）



倉敷市美観地区

会場風景



## 第41回あいち学童保育研究集会のお知らせ



2025年3月2日の開催に向けて、毎年楽しみにしているカウントダウンがはじまりました！2024年11月22日「あと100日」からスタートです。

地域も一緒になって盛り上げていただくとともに、1人でも多くの方に知ってもらいたいという気持ちも詰まっています。皆さんの力作をSNSに投稿していきますので、「研究集会があるよ～」と地域やクラブでぜひ呼び掛けてほしいと思います。

さて、実行委員会も12月で5回目を迎え、地域、事務局からの提案について相談をしながら、詳細な内容を詰める段階に進んでいます。

午前の全体会では、岡崎 勝さん（名古屋市小学校教員）に「子どもってワケわからん?!けど、おもしろい

～令和の子どもたちとの付き合い方」をテーマに記念講演をしていただきます。私自身、岡崎先生の大ファンということもあり、とても楽しいお話が聞けるとわくわくしています。

また、午後からは15分科会（現地会場10、オンライン5）を予定しておりますので、今後発行されるポスター、チラシの情報を見て、どれに（参加）しようかな...と楽しく選んでいただけると嬉しいです。

研究集会は指導員さんの研修機会であると同時に、学童保育に関係される皆さんの交流の場でもあります。

“初めて知ったので参加してみました！”の方、“今年も参加しました！”の方、多くの方にお会いできるのを楽しみにしております。（実行委員長 三輪）



カウントダウンがはじまりました！楽しい投稿がいっぱいです。お楽しみに。あいち研究集会のHPは右記二次元コードからお入りください。

**補助金コラム**

教えて賀屋さん



今回のテーマは「**しょうがい児受入に関する補助金**」についてです。

しょうがい児を受け入れるに際し補助金があります（詳細は表参照）。しかし、しょうがい児を受け入れたらもらえるというものではありません。表に記載されているように「専門的知識を有する職員を配置した場合」に補助金対象となります。今までに、配置をしていなかったため会計検査院等の指摘（しょうがい児がいる日に指導員が2人しかいなかった等）で補助金を返した例がありますので、ご注意ください。

また「専門的知識を有した職員」の定義がはっきりしていません。愛知県としては最低限「愛知県の資質向上研修」の「しょうがい」に関する研修を受けていれば「専門的知識を有した職員」にしていますが、市町村が決めていますので、確認することが必要です。

さらに、「しょうがい児」の定義も市町村で違ってきます。こちらも市町村と確認することが必要です。

集団行動になじむ「しょうがい児」なので、職員配置をしない場合は、補助金対象にならないので、障害児受入に関する補助金をもらう際には職員配置をしっかりとしましょう。

※以下の表は国の補助金です、市町村が実施しているかは市町村に確認しましょう

障害児受入推進事業	専門的知識等を有する職員を配置した場合	障害児1人以上受け入れた場合 2,059,000円	
障害児受入強化推進事業 「障害児受入推進事業」に加えて支給。	障害児を3人以上5人以下受け入れる場合	職員を1人配置	2,059,000円 / 年額
	障害児を6人以上8人以下受け入れる場合	職員を2人以上配置	4,118,000円 / 年額
専門的知識を有した人を配置すること。	障害児を9人以上受け入れる場合	職員を1人配置	2,059,000円 / 年額
		職員を2人以上配置	4,118,000円 / 年額
		職員を3人以上配置	6,177,000円 / 年額

**あいち・なごや指導員会 ainapu 主催 遊び交流会が開催されました**





10月10日(木)、“子どもの「ひま〜」に困っていませんか？”をキャッチコピーに遊び交流会を開催しました。「学年問わずできる遊びのレパートリーが欲しい!」「室内で体を動かす遊びって何がある?」「工作のネタに困っている…」など、思いを持った指導員が名古屋市をはじめ大府、安城、豊橋などから、23名集まりました。「ボードゲーム」をはじめ「トランプを使った遊び」「工作」「ポッチャ」「室内で体を動かす遊び」の5つの遊びコーナーを、小グループ毎に体験・交流しました。また、会場の山里学童クラブさんの施設見学、保育についての交流も行いました。みなさん熱心にメモをとったり積極的に質問をしたり、何より遊びを通して交流を楽しんでいる姿が印象的でした。交流会後のアンケートには以下のような回答がありました。

- ・初めて知った工作や、ボードゲーム、カードゲームがたくさんあり、これから学童で取り入れたいと思います。
- ・トランプが保育にすぐに取り入れられた。暇だといつも言っている子にも好評だった。周りも巻き込みやすく、自分から誘うような感覚を覚えてもらいたい。
- ・こうした交流会の開催頻度が増えるといいなと思いました。日々の赤裸々な相談も含め交流の場がほしいので、また機会あれば参加したいです。
- ・遊び方だけでなく、その狙いや工夫まで聞くことができたので、大変参考になりました。学童保育所の環境がまだまだ整っていない中、子ども達が最大限に楽しめるように遊びを展開していく必要があると考えさせられました。
- ・楽しかったので、良かったです。時間がもう少しほしかったけれど、あの時間で精一杯だと思います。これらの回答から、多くの方が充実した時間を過ごしたことがうかがえます。今回のような「遊び交流」の他にも、「トーチ」「土曜保育」「行事」といったテーマでの交流会開催を希望する声が寄せられたので、次回以降のテーマとして参考にしていきたいです。

**あいち・なごや指導員会 ainapu** に入いませんか?  
 2024年度から名古屋市と愛知県の連協協会は合同で指導員会を行うことになりました。活動の場として、お話し相手、交流、指導員の成長、学童保育関係者同士の交流の場を創出します。ぜひご参加ください。  
 2024年度から名古屋市と愛知県の連協協会は合同で指導員会を行うことになりました。活動の場として、お話し相手、交流、指導員の成長、学童保育関係者同士の交流の場を創出します。ぜひご参加ください。  
 2024年度から名古屋市と愛知県の連協協会は合同で指導員会を行うことになりました。活動の場として、お話し相手、交流、指導員の成長、学童保育関係者同士の交流の場を創出します。ぜひご参加ください。

あいち・なごや指導員会 ainapu への参加は、  
[shidouin.bukai@gmail.com](mailto:shidouin.bukai@gmail.com) まで  
 お知らせください。

## えがおプロジェクトよりお知らせ



「2024 年緊急時の対応・対策についてのアンケート」を2024年9月~10月末まで実施しました。県内より、79件の回答をいただきました。

今後集計結果を愛知県連協 HP などに掲載をしていきます。お忙しい中アンケートに協力ありがとうございました。

### 「自然災害 学童保育支援募金」の振込先

【郵便振替の場合】 ・口座記号番号:00170-9-635754  
 ・口座名称:全国学童保育連絡協議会  
 【銀行振り込みの場合】 ・ゆうちょ銀行・〇一九店・当座預金・口座番号:0635754  
 ・口座名称:全国学童保育連絡協議会  
 (ゼンコクガクドウホイクレンラクキョウギカイ)

全国学童保育連絡協議会の「自然災害 学童保育支援募金」が募金の受付をしておりますので、引き続きご協力の呼びかけをお願いいたします。

\* お寄せいただいた募金は、当該地域の学童保育連絡協議会と相談のうえ、必要に応じて各地域に届けられます。

## ほいく誌コラム



### 日本の学童ほいくとの出会い

私が「日本の学童ほいく(以下ほいく誌)」に出会ったのは、約14年前。保護者会会長となって、手渡されたのがきっかけです。

現役保護者の時は、正直忙しくてなかなかゆっくと読むことができなかったのですが、自身のクラブが大規模

クラブとなり分割をしないと待機児童が発生するという危機に立ち向かうことになり「どうしよう・・・」と悩んでいました。その時、地域にきてくれていた県連協役員さんに渡されたのが、ほいく誌のバックナンバーでした。同じように大規模に悩むクラブの記事や、分割をしていったクラブの記事を読みました。なかなか忙しくて読めないほいく誌でしたが、その頃から、保護者会役員さん「これ大事」と思い、ほいく誌を読むようになりました。

気づけば保護者OBになりもう6年が過ぎ、今ではほいく誌を紹介する側になりました。上記のチラシは、ほいく誌を宣伝するアイテムになります。ぜひ地域でも日本の学童ほいくを多くの方に読んでいただくためにご活用ください。(県連協役員 廣川)